

## 【事業報告】

## 平成 21・22 年度の事業報告

## 総括

母校も4年制大学として順調な歩みで4年次が完成し第1回卒業式が行われた。本学友会も大学卒の会員を迎えるという新たな歴史の一步を踏み出すことになった。

この2年間の学友会事業の遂行に当たっては、会員相互の親睦と母校の後援という本会組織の目的を尊重し、更なる組織結束力の向上と母校の発展を念頭に置き、常置委員会を中心に活動を行った。以下に事業結果を報告する。

## 1. 支部活動の支援と連携について

本会活動の活性には支部との連携は極めて重要である。2年間にわたって、全国10支部延べ13回の出席要請を受け、会長、副会長、理事が協調して、支部総会に出席し意見交換と親睦を図った。支部総会の席上で「入学希望者の紹介要請」、「卒業予定者への就職情報提供」などの母校支援の協力を呼びかけた。

7県からなる九州支部を福岡支部、長崎・佐賀支部、大分支部、熊本支部、宮崎支部、鹿児島支部の6支部に再編成し、学友会の目的実現のためきめ細かい

活動をお願いした。

## 2. 学友会事業の活性について

## 役員後継者の育成

短期大学卒の理事を2名増員し計3名とした。3名には企画委員を委嘱し学生との交流に係わる事業の充実と活性を図った。

## 母校行事支援と学生交流の強化

入学式・卒業式など全ての学園行事に臨席、祝辞挨拶の中では学友会の沿革、意義、活動内容などについて理解していただくことに努めた。恒例となっている学園祭、就職懇談会も予定通り実施し学生との交流を図った。学園祭では在校生を対象とした懇談コーナーの開設、ゲートボールの参加、バザーには販売物品を供出し協力した。また、学園祭と同時に開催されたオープンキャンパスにも学友会相談コーナーを設け父兄や学生本人の相談に応じた。

## 広報活動の充実

支部総会など学友会活動と大学行事が重ならないよう学友会HPに行事スケジュールを事前に掲載することにした。

通常の事業に関する報告は下記に「委員会報告」として示す。

## 委員会報告

## (1) 庶務委員会

通常の業務として理事会(年4回)および各委員会、打合せ会議等の開催案内等、学友だより(年4刊)の発送、ホームページの定期的な更新および内容の充実を図った。会員情報管理、支部の役員名簿、卒業生就職先名簿など各種文書の取扱業務を行った。また、支部総会および同窓会開催時には、会員宛名シールの提供を行った。

## (2) 編集委員会

「学友だより」を下記の通り年4回発行し、会員との情報の連携に努めた。内容については、当初の予定通り必要事項は全て掲載できた。加えて通巻199号(平成23年4月10日発行予定)の発行準備を行った。

「学友だより」

通巻191号 2009年(H21-N0.1) 平成21年4月10日発行(A4判8頁)

通巻192号 2009年(H21-NO.2) 平成21年7月10日発行(A4判18頁)

通巻193号 2009年(H21-NO.3) 平成21年10月1日発行(A4判8頁)

通巻194号 2010年(H21-N0.4) 平成22年1月10日発行(A4判16頁)

通巻195号 2010年(H22-NO.1) 平成22年4月1日発行(A4判6頁)

通巻196号 2010年(H22-NO.2) 平成22年7月10日発行(A4判10頁)

通巻 197 号 2010 年(H22-N0.3) 平成 22 年 10 月 10 日発行(A4 判 10 頁)

通巻 198 号 2011 年(H22-NO.4) 平成 23 年 1 月 10 日発行(A4 判 14 頁)

(総頁数 90 頁)

### (3) 企画委員会

#### 就職懇談会の開催

平成 21 年 8 月 29 日(土)、平成 22 年 8 月 28 日(土)の両日、午後 1 時 30 分から本校集中講義室において、就職懇談会を実施した。平成 21 年度は短大 3 年生を対象に、平成 22 年度は京都医療科学大学一期生が対象であった。

『平成 21 年度』講師として短大卒業生を中心に 6 名の方をお願いした。企業に席を置く短大卒業生にも参加していただいた。病院種別、企業、女性技師および新卒業生それぞれの立場から発言していただき、その後質疑応答を行った。

『平成 22 年度』講師として短大卒業生を中心に 6 名の方をお願いした。助言者には、学友会会長を含めて 5 名の参加を得、それぞれから意見をいただいた後、質疑応答を行った。

両日ともに懇談会終了後、在校生との懇親の場を持った。

就職活動に関しては学校と学友会との連携を緊密にし、今後ともサポート体制を強化する必要がある。

#### 学園祭における学友会相談コーナーの開設

学友会だよりに、学園祭への参加案内を掲載した。

平成 21 年 10 月 10 日(土)、平成 22 年 10 月 23 日(土)に開催された学園祭(秋桜祭は 22 年度から大瑠璃祭に改称された)に例年通り「学友会何でも相談コーナー」を設け、在校生の各種の相談に応じると同時に、在校生と卒業生との親睦を図った。相談の主な内容は就職問題であり、学生年次に関係なく、関心の多くを占めていた。また、就業後の業務に対する取り組み方や心構えについてといった意欲的な相談も多くあった。

両日とも、大学のオープンキャンパスも開催され、見学に訪れた入学希望者(高校生、保護者)の相談を受けられたのは有意義であった。特に保護者からの相談では、資格取得に対する関心や期待が強く感じられ、本校の優位性や学友会組織を持つ特性などをアピールした。

#### 学友会ホームページの更新

前年度の事業として、京都医療科学大学学友会のホームページの改定を行なった。21、22 年度はその運用について逐次検討を加え、学友会活動の広報に勤めた。大学事務局の協力も受け、学友だよりの発行時やトピックスに合わせ、随時ホームページの更新を行っている。

### (4) 名簿委員会

2010 年版会員名簿を平成 22 年 11 月(有償 2,000 円)に発行した。

印刷部数 550 冊、有償頒布数は 366 冊(732,000 円)、無償配布 63 冊(学友会 3 冊、広告社 45 冊、在学生 15 冊)で、残数が 121 冊となった。広告社については厳しい経済情勢の中 30 社(1,350,000 円)の申込をいただいた。

### (5) 表彰委員会

#### 表彰対象者の選考

「表彰規定」および「名誉会員並びに表彰候補推薦内規」に則り、各支部からの推薦者を含めた表彰対象者の選考をした。

#### 2011 年度学友会総会表彰者等

『功労賞』長年理事・監事および滋賀支部長を務められた土田信明氏(滋賀支部,35 回生)、長年関東支部長を務められた松本進氏(関東支部,39 回生)の両氏に功労賞を贈呈することを決定し、理事会に推薦した。

尚、『名誉会員』、『学友会栄誉賞』、『学友会奨励賞』については、該当者がなかった。

以上

\* 通巻 200 号 2011 年 7 月 10 日発行(H23 - No.2)より